

日本地球化学会 2007 年度第 3 回評議員会議事録

日時：2007 年 9 月 18 日（火）16:00～

出席者：松田准一会長，蒲生俊敬副会長，赤木右，中井俊一，平田岳史，益田晴恵，山本鋼志，小畑元，植田千秋（以上幹事），天川裕史，河村公隆，千葉仁，角皆潤，日高洋，南雅代（以上評議員），松久 幸敬（監事）

1. 2007 年度第 2 回評議員会議事録を承認した。

2. 報告事項

2-1 庶務（植田幹事）：【研究助成等】2007年度第2回鳥居基金に1件の申請があり，国内集会として高橋浩（TE-57）に助成金交付手続きを行なう。【庶務一般】地球化学2007年度会員名簿号ハンドブックの編集。【後援・共催等】（後援）Goldschmidt Conference 2007 (8/19-24)，ドイツ・ケルン（共催）第44回アイソトープ・放射線研究発表会（7/4-6）。【幹事会】2007年9月8日13:00-17:00，第3回評議員会の議事内容について整理した。

2-2 会員異動（中井幹事）

【入会退会の承認】

【入会】

（6月）

学生会員

9282459	藤岡 聡介	フジノカ トシユキ	The Australian National University, Department of Nuclear Physics, Research School of Physical Sciences and Engineering
9282470	山崎 秀策	ヤマザキ シュウサク	新潟大学大学院自然科学研究科

学生会員（修士パック）

9282418	荘山 英敏	ソウヤマ ヒデアキ	大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻 松田研究室 松田教授
9282420	塚本 英智	ツカモト ヒデアキ	大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻 松田研究室 松田教授気付
9282474	奥村 文章	オクムラ フミアキ	名古屋大学大学院環境学研究科 地球環境科学専攻 地球化学講座
9282476	後藤 久範	ゴトウ ヒサリ	名古屋大学環境学研究科地球化学講座
9282479	飯塚 理子	イヅカ リコ	東京大学大学院理学系研究科化学専攻 地球化学研究室野津教授

（7月）

一般会員

9282477	関 宰	セキ サム	北海道大学大学院地球環境科学研究院
---------	-----	-------	-------------------

学生会員

9282483	冬野 正史	フユノ マサシ	近畿大学地球化学研究室
9282484	山口 和宏	ヤマグチ カズヒロ	近畿大学理工学部
9282485	中村 高志	ナカムラ タカシ	山梨大学大学院医学工学総合教育部 環境社会創生工学専攻 風間研究室
9282486	山岡 香子	ヤマオカ キョウコ	東京大学大学院新領域創成科学研究科 自然環境学専攻
9282488	菊池 麻希子	キキチ マキコ	広島大学大学院理学研究科地球惑星システム学専攻 同位体地球惑星科学研究室

学生会員（修士パック）

9282472	横山 隆臣	ヨコヤマ タカヒ	東京工業大学大学院理工学研究科地球惑星科学専攻
9282473	古川 由紀子	フルカワ ユキコ	東京大学理学系研究科地球惑星科学専攻佐野研究室
9282487	鈴木 和博	スズキ カズヒロ	名古屋大学大学院環境学研究科

				地球環境科学専攻地球化学講座
9282490	楠田 千穂	クスダ チホ		東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻
(8月)				
一般会員				
9282492	飯塚 毅	イヅカ ツシ		The Australian National University, Research School of Earth Sciences
学生会員 (学生パック)				
9282443	小池 庸代	コイケ ユヨ		東京薬科大学生命科学研究科 環境応答生物学研究室分子計測
9282489	代田 里子	タテタ リコ		北海道大学理学部地球科学科角皆研究室
9282493	大森 一人	オオモリ カズト		北海道大学理学院自然史化学専攻

【退会】

(6月)

シニア会員

9280195 金沢 照子 逝去

(7月)

一般会員

9282353 Richard John Wysoczanski

(8月)

なし

【変更】

(6月)

会員番号	会員名	変更前	変更後
1282229	辻 寛之	学生	一般会員
4281359	巻出 義紘	一般会員	シニア会員

(7月)

会員番号	会員名	変更前	変更後
9282409	坂口 綾	学生	一般会員
9282459	藤岡 聡介	学生	一般会員
9282469	高田 雄一郎	学生	学生パック
9282470	山崎 秀策	学生	学生パック

【変更】

(8月)

会員番号	会員名	変更前	変更後
9282483	冬野 正史	学生	学生パック
9282484	山口 和宏	学生	学生パック
9282485	中村 高志	学生	学生パック
9282486	山岡 香子	学生	学生パック
9282488	菊池 麻希子	学生	学生パック

2007年8月31日現在の会員数

	正会員	(一般)	(学生)	(学生)	(シニア)	賛助会員	名誉会員	計	海外会員
			(修士パック)						
2007/5/31	922	(758)	(70)	(37)	(57)	11	12	945	38
入会	21	(2)	(2)	(17)				21	(1)
退会	-2	(-1)			(-1)			-2	
変更		(2)	(-5)	(2)	(1)				(1)
2007/8/31	941	(761)	(67)	(56)	(57)	11	12	964	40

2-3-1 G J (赤木幹事) GJ Vol. 41 No. 4 を9月下旬に地球化学と同時発送した。本年度の受付論文数は75編で、そのうち10編を受理、18編を却下、47編が審査中である。Cologneで編集委員会を開催した。新しく導入したExpress Lettersのカテゴリーに対し、出版後直ちに全ての読者にフリーアクセス件を与え、しかもweb上ではカラー図表も掲載可とする旨、テラパブから提案あった。機関リポジトリの対応を、テラパブと協議中である。受理順と掲載順が逆転する事態新しく1件発生した。電子投稿を何度も送付するケースが後を絶たないため、注意喚起の一文を加えた。論文に付随したデータのアーカイブを、日本地球化学会のホームページ上に設置することを検討した。

2-3-2 地球化学(益田幹事)第41巻第3号を9月上旬に発行した(報文1編,博士論文抄録1編)。第4号は、特集号(エアロゾル/報文5編)を含む。12月上旬発行予定。2007年度にはいって、9月4日までの編集状況は以下の通りである。受理済みのは、受賞記念論文3編,報文12編,総説2編,博士論文抄録1編で、査読中のものは受賞記念論文1編,報文8編,総説1編である。昨年からの持ち越しの報文1編があったが、6月1日付けで受理した。名簿号に編集委員会メンバーの誤植があり、訂正を行うこととした。

2-3-3 ニュース・HP(山本幹事)ニュースNo. 189(年会のお知らせその2を含む)は地球化学Vol. 41 No. 1に綴じ込みで、6月上旬に発行済み。No. 190(年会のお知らせその3ならびにプログラムを含む)は9月上旬発行した。No. 191は10月下旬原稿締め切り、12月上旬発行の予定である。ニュース電子メール版を随時送信(前回幹事会以降2007 No. 50-93を配信9月10日現在;学会からのお知らせ11件,年会のお知らせ9件,シンポジウム等の案内6件,受賞のお知らせ2件,その他案内4件,人事公募11件,助成応募案内1件)。本年も、年会の受付・ホームページ作成を国際文献印刷に依頼した。ヘルプデスクへの問い合わせは、岡山大学へ転送し処理を行った。全体の受付システムとしては特に問題はなく、本年の発表申込数は一般講演256件,受賞講演3件である。

2-4 行事(平田幹事)2007年5月19日から24日にかけて、千葉幕張メッセ国際会議場にて2007年日本地球惑星科学連合大会が開催された。参加学会が46学協会に増加し会期も6日となった。地球化学会関連のセッション「固体惑星のセッション」は21日に行われ、50名を越える参加者で活発な議論がなされた。地球化学会ではブースを開設し、入会パンフレットの配布や、年会に合わせたショートコースの宣伝を行った。来年の日本地球惑星科学連合2008年大会は、同じく千葉幕張メッセ国際会議場にて2008年5月25-30日にかけて開催予定である。2007年ゴールドシュミット国際会議が2007年8月19-24日にかけて、ドイツCologne市で開催された。口頭発表1270件,ポスター発表1090件,総参加者はおよそ2500名であった。日本地球化学会を含む複数の学会から提供された補助金は、若手研究者の渡航費補助にあてられた。二つの研究分野(Hight-T分野およびLow-T分野)のそれぞれ30名(計60名)の学生に対して渡航費補助が出された。なお、渡航費補助の選考にあたって、日本地球化学会から二名の審査委員を出した。今年度の日本地球化学会年会が、9月19-21日にかけて岡山大学で開催される。来年度の年会は東京で開催予定(2007年9月)である。第2回日本地球化学会ショートコースを年会時に開催した(2006年9月12日)。講師5名,参加者46名が集まり、活発な議論がなされた。

2-5 各種委員会

2-5-1 鳥居基金(蒲生選考委員)平成19年度第2回鳥居基金は、高橋浩氏に交付することとした。

2-5-2 日本地球惑星科学連合 各種委員会(松田会長)2008年度連合大会プログラム委員会からの報告があった。

2-5-3 2007年度年会について(千葉評議員) 国際文献に対して、年会業務および要旨集印刷に関する見積依頼と発注を行なった。日本地球化学会ニュースに「2007年度日本地球化学会年会のお知らせ(2)」を掲載した。年会HP運用を6月1日に開始した。最終的な講演登録数は合計で256件であった。前年度に引き続き、学生のポスター発表の優れたものに対して、ポスター賞を授与することとした。選考は年会準備委員および幹事会メンバー等の採点に基づいて行い、懇親会で表彰式を行う。第2回日本地球化学会ショートコースを9月12日に学会講演会場で開催した。夜間集會を9月13日夜に開催した。

2-6 ゴールドシュミット国際会議に関する報告(赤木評議員)。口頭発表1270件,ポスター発表1090件,総参加者はおよそ2500名であった。日本地球化学会のブースを開設し、学会活動のアピール,GJ賞の紹介などを行った。今年は、参加者全員に日本地球化学会の英語パンフレットを配布した(参加者バッグに入れて頂いた)。会期中,GJ賞の授賞式が行われた。赤木GJ編集委員長がcitationを行い、松田会長

が授与を行った。来年度のゴールドシュミット国際会議は、2008年7月13～18日にかけて、カナダ バンクーバーにて開催予定である。

2-7 日本化学連合の発足について、海老原評議員より報告があった。

2-8 2008-2009年度役員選挙の結果について、山本選挙管理委員会委員長より報告があった。

3. 審議事項

3-1 2006年度事業報告・2007年度事業中間報告・2008年度事業計画（植田幹事）：それぞれの事業内容について説明がなされ、承認された。

3-2 2006年度決算報告・2007年度会計中間報告・2008年度予算（小畑幹事）：それぞれの会計内容について説明がなされ、承認された。

3-3 2007年度総会議事次第（植田幹事）：総会の議事次第について説明がなされ、承認された。

3-4 修士パックの名称変更、および電子媒体による会誌の配布に関する会則改正案が、植田幹事より提示され、了承された*。

3-5 委員の改選：学会賞選考委員、鳥居基金選考委員の選挙がなされ、学会賞選考委員には長尾敬介会員、植松光夫会員を、鳥居基金選考委員には中井俊一会員を選出した。来年度の学会賞選考委員長は坂本尚義会員、鳥居基金選考委員長は野津憲治会員に委嘱することとした。

3-6 鳥居基金の応募規定について、重複申請の禁止を明記する旨、提案があり了承された。

3-7 Geochemical Journal, 地球化学およびニュースのバックナンバーを定期的に製本する必要性について山本幹事より提案があり、次期幹事会でそのルールを検討することとした。

4. 今後の評議員会・幹事会の予定

2007年度日本地球化学会総会：9月20日（木）岡山大学津島キャンパス

2007年度第4回評議員会（新旧引継）：9月21日（金）岡山大学津島キャンパス

2008年度第1回幹事会：2月9日（土）東京大学海洋研究所

2008年度第1回評議員会：2月16日（土）東京大学山上会館

*なお総会では、電子媒体に関しては会則変更しないことに決した。